

2025. 5. 29

国際婦人年連絡会

# 男女半々議会をめざして30余年

全国フェミニスト議員連盟 誕生から現在まで

BY 三井マリ子（同連盟世話人）



# 総会 パワーアップ

2025/5/18.19

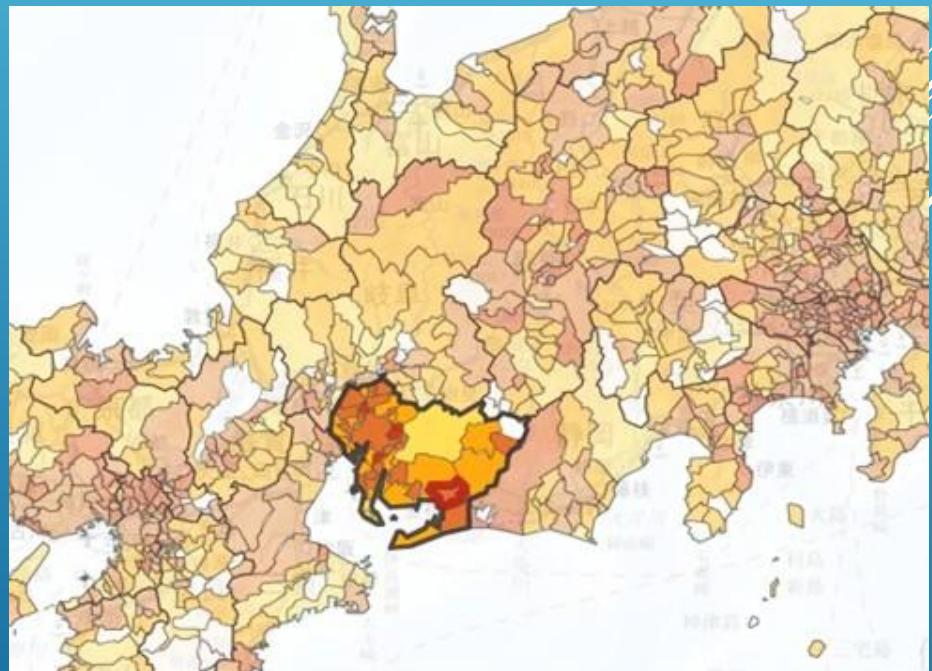




# ゼロ撲

# 愛知県豊根村訪問

## 2025/1/20



# ロビーイング

政策立案への働きかけ=抗議  
要請行動

2025年 外務省  
2024年 内閣府  
2023年 法務省・入管庁  
2017年 宮城県知事



# デモ、アクション



**全国フェミニスト議員連盟は  
1992年2月15日  
女性議員を増やし  
女性の声が政治に反映する社会  
をつくるために  
超党派の市民・議員で結成された**



# 誕生まで

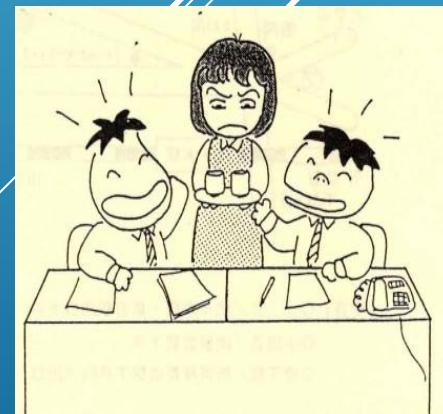
- 1919年 新婦人協会（平塚らいいてう）政治集会への女性の参加を求めて請願書提出
- 1924年 婦人参政権獲得期成同盟会（久布白落実）前年関東大震災
- 1925年 婦選獲得同盟（市川房枝、久布白落実）
- 1945年 衆議院選挙法改正され女性に参政権：帝国臣民たる男子→帝国臣民たる~~男子~~
- 1946年 衆議院女性39人当選（大選挙区制、連記制）。憲法制定
- 1947年 衆議院女性15人に激減（中選挙区制）
- 1975年 国際婦人年スタート、国際婦人年をきっかけとして行動を起こす女たちの会（樋口恵子、中島通子、駒野陽子）、国際婦人年連絡会（市川房枝）
- 1979年 わたしたちの男女平等法をつくる会（中島通子、田中寿美子）
- 1980年 世界女性会議@デンマーク。政府「女性差別撤廃条約」署名。批准には3分野の法制度改正が条件。激しい女性運動
- 1985年 世界女性会議@ケニア。男女雇用機会均等法制定、女性差別撤廃条約批准
- 1986年 ノルウェー「女の内閣」世界を震撼させる
- 1989年 都議選、参院選で女性議員増。ノルウェー視察（クオータ制、男女平等オンブッド）
- 1991年 女性のみのお茶くみ撤廃運動
- 1992年 「お茶くみの政治学」出版を機に女性議員を増やす目的の新組織へ（中嶋里美、三井まり子）

# 呼びかけ人20人

1992年2月14日

あすかい佳子（京都向日市議）  
河西のぶみ（狛江市議）  
かねがえ洋子（茅ヶ崎市議）  
小枝すみ子（千代田区議）  
住田景子（小平市議）  
土井節子（田無市議）  
中嶋里美（所沢市議）  
藤田一枝（福岡県議）  
村山ひろさだ（文京区議）  
山口幸子（北海道広島町議）

井上睦子（八王子市議）  
片野令子（練馬区議）  
亀倉順子（国分寺市議）  
佐藤ひろこ（中野区議）  
高里鈴代（那覇市議）  
富沢よし子（杉並区議）  
広田信子（江東区議）  
三井マリ子（東京都議）  
山口彩子（堺市議）  
吉井玲子（堺市議）



# 全国フェミニスト議員連盟

## Alliance of Feminist Representatives



AFER（頭文字をとってアファー）

暫定的特別措置アファーマティブ・アクションのアファーにかけた。

機関紙名をAFERと名づけて広めようとした。 Homepage <https://afer-fem.org/>

# 活動

結成のよびかけ（1992年2月15日）より

- 1 女性の議員ゼロの自治体をなくす運動。すべてのレベルの女性議員率を最低30%まで上げる運動
- 2 既成の政策、法律、条例を男女平等の視点で点検
- 3 女性がいきいき生きられるあらゆる環境づくりの政策立案
- 4 情報交換、交流
- 5 日常的にはゆるやかな連合、連帯活動。超党派とする



ノルウェーの新閣僚、18人中女性が8人



ヘーレン・ベスト  
リュード法相



アンネリザ・バッ  
ケン消費・行政相



シセル・リュン  
ベック環境相



トーベ・ガーゲムエ  
ル博士・社会福祉相

**女性比率40% 党の方針**

首相

「もつと増やせるわ」

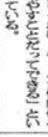
## 現地の声は「当然よ」



クリスティン  
ハルボルグ  
教育・文化相



グンヒルド・エイ  
ドエン環境相



ベア特・ローナ  
ン社会福祉相

# ノルウェー「女の内閣」



Inspire

1986年5月19日朝日新聞「ノルウェーの新閣僚18人中女性が8人：女性比率40% 党の方針」

三井は高校教員をしながら都高教（労組）婦人部。男女平等を求めて女性解放運動や労働運動...。雇用平等法案を携えて国会に陳情。ハンスト、イブリブリレー。私たちの法案は相手にされず打ちのめされた。当時の日本の国会は女性議員1%、女性大臣ゼロ。国会の傍聴席で思った「ここを変えずして男女平等社会はない」。過労で入院・休職

高校教員再開後、新聞記事→ノルウェー調査・取材へ

首相は小児科医で4人の母(7歳から労働党子ども党員)

閣僚19人中女性9人、47%。閣僚会議は学校のクラスのよう

文科相は教員をしながら市議を兼ねて国會議員に、厚生相は公務員をしながら

市議を兼ねて内閣顧問、環境相は女性解放運動家

国會議員の36%、最大与党（労働党）は51%が女性

男女平等法：決める場40%の「クオータ制」、推進機関「男女平等オンブズド」

政党内規：比例代表制選なので政党は候補者名簿の40%を女性に

市民代表法 Representation of the People Act : 国も地方も比例代表制選挙

# 誕生前後

- 中央線荻窪駅前の銭湯に集まって起案した
- 1992年2月14日バレンタインデーが出産予定日だった
- 組織名のフェミニストの言葉に異論反論。見切り発車。後に名称を公募したが応募なかった
- 男女平等と女性解放を願い運動する人をフェミニストと呼び、男性も会員に
- 「ノルウェーのクオータ制（40%）を日本にも」を大目標に。
- 1985年「ナイロビ将来戦略」でクリティカル・マス30%が最低目標とされ、30%という数字を活動目標に入れた（50%か40%か30%か。議論沸騰し現実路線に）
- 全国で女性議員を増やそう、と全国にこだわった。全国各地で夏合宿が恒例イベントに
- 代表は2人制。アルファベット順に並べる。2年交代。多くの女性がリーダー経験を積もう
- 阿佐ヶ谷駅近くの三井マリ子事務所（都議だった）が作戦・準備の場
- 初代代表は中嶋里美、三井マリ子。決定の場は世話人会（月1）、会費年1万円
- 平等社会をつくるのだから「先生」は使わない、対等に言い合い合意形成、会議はオープン



お茶くみの政治学から  
全国フェミニスト議員連盟へ

ふやせ！フェミニスト議員  
全国フェミニスト議員連盟結成集会

1992年2月15日（土）於・婦選会館

プログラム

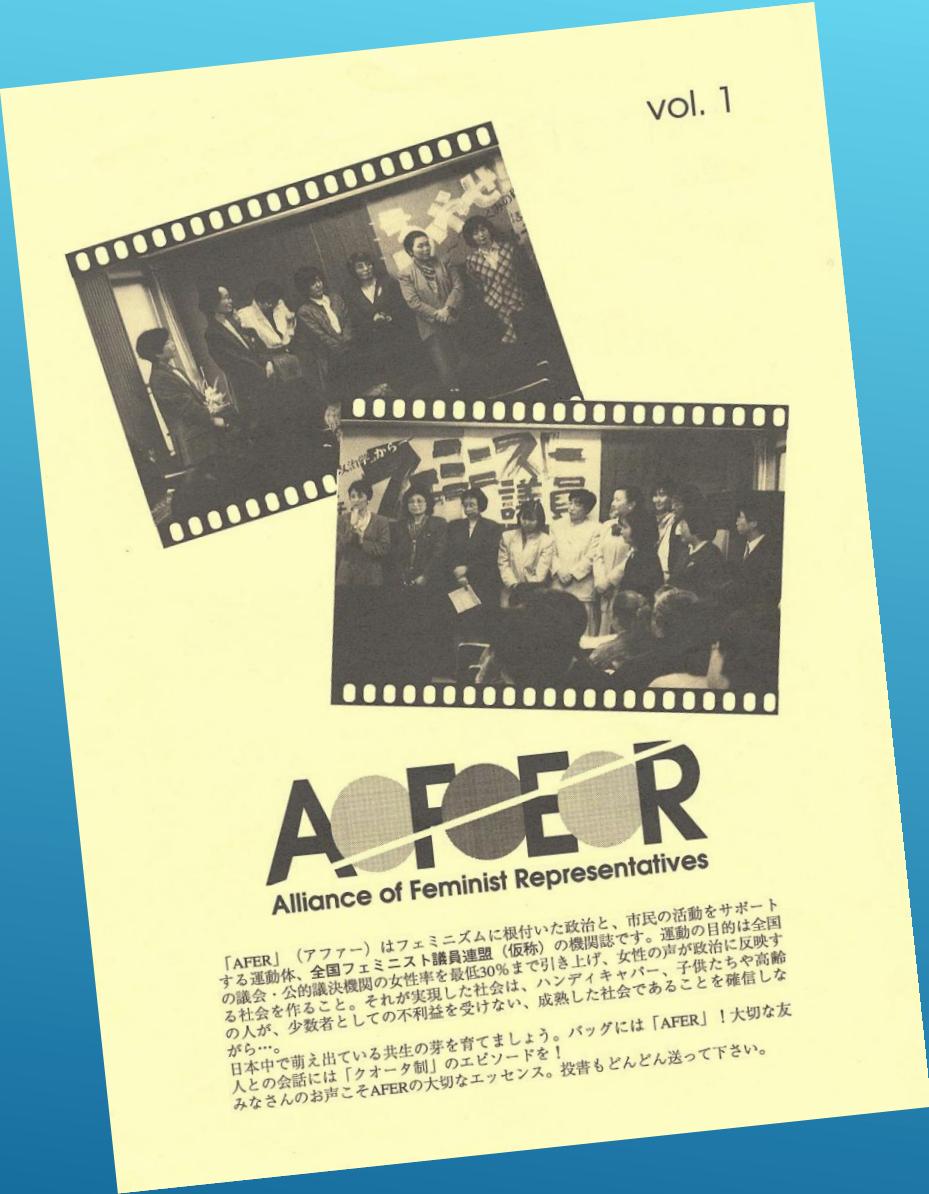
- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 開会あいさつ             | 広田信子（江東区議）        |
| 2. 記念講演               | 中山千夏さん（作家・前参議院議員） |
| 3. クオータ（割当制）について      | 三井マリ子（東京都議）       |
| 4. アルゼンチンの法改正について     | 中嶋里美（所沢市議）        |
| 5. フェミニスト議員連盟について     | 小枝すみ子（千代田区議）      |
| 6. 質疑応答               |                   |
| 7. ブックレット「お茶くみの政治学」紹介 | 村山ひろさだ（文京区議）      |
| 8. フェミニスト議員紹介         |                   |
| 9. 閉会あいさつ             | 井上睦子（八王子市議）       |

主催：「お茶くみの政治学」実行委員会

〒166 杉並区阿佐谷南2-19-11-101 三井マリ子事務所 気付



・集会終了後、懇親会を持ちます。  
ホテルサンルート2階、中国料理  
「飛鳥」で。会費：5000円位。  
参加希望者は書籍販売の遠藤真子まで申し込んで下さい。



AFER 1号



最初のリーフレット

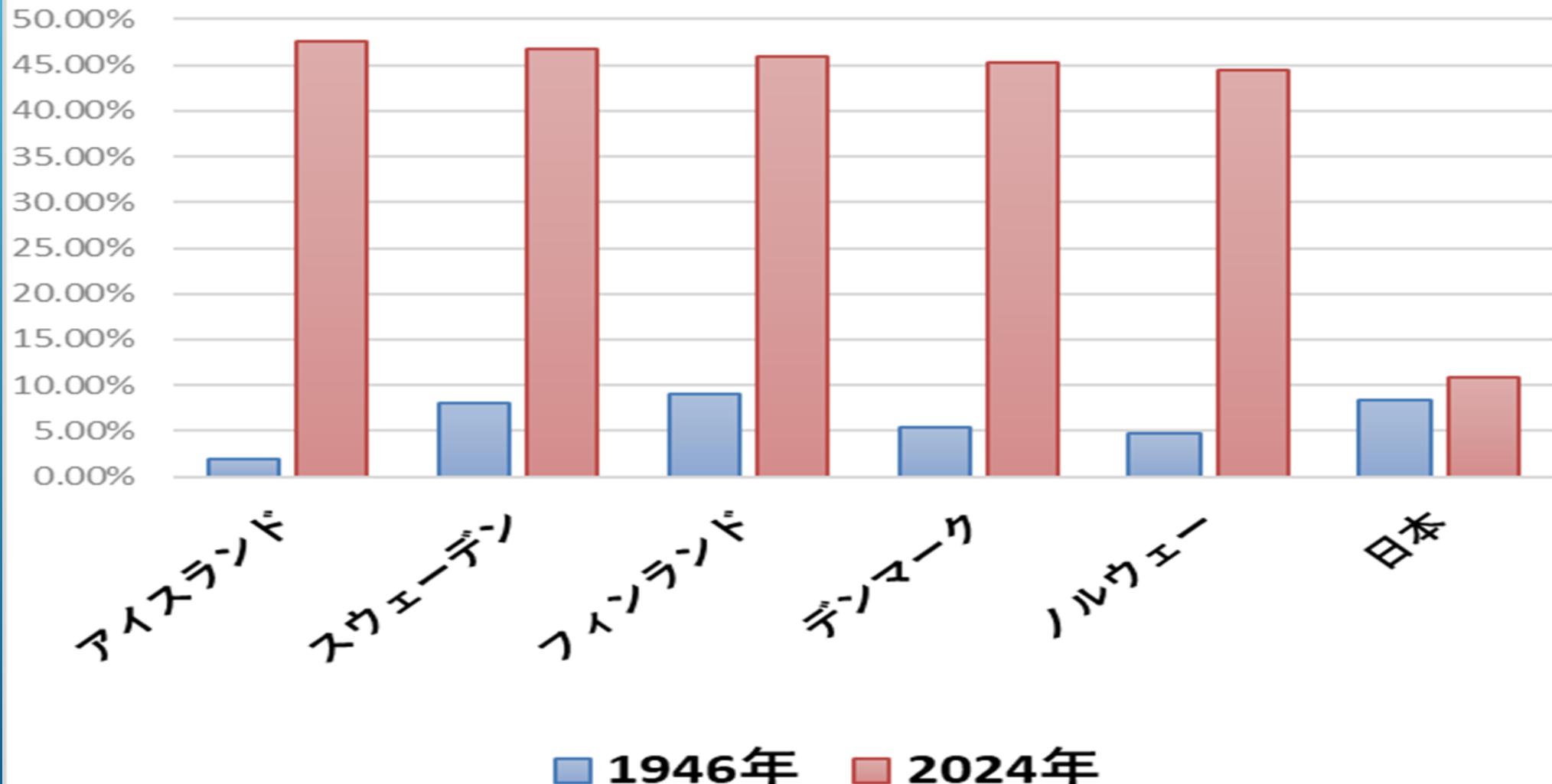
# 設立後の主な活動

- 1993年 全国の自治体の男女平等度を調査してランキングを発表
- 1995年 北京の国連・世界女性会議でフェミニストワークショップ（中嶋・三井）。帰国後シンポジウム「北京行動綱領を読む」
- 1998年 マニラで女性議員増の国際会議。女性と政治キャンペーン開始
- 1999年 女性が立候補した富山県利賀村に。地区割の慣行、無投票当選。「ゼロ撲」運動へ  
「『女はひっこめ』と、いろんな所から言ってくる」「親戚は『村におれんようになる』『村八分になる』と言う」「新聞は『女が出た』と茶化すひどい記事を書いた」
- 2015年 衆院の比例枠増、女性候補の少ない政党への政党交付金減額など制度変革を要望（総務省）  
『自治体議会における性差別体験アンケート報告集』
- 2018年 長野県川上村訪問（ゼロ撲：矢澤江美子、小磯妙子、陣内泰子、伊藤正子）。朝日新聞「マケ」を社会問題化。翌年、村史上初の女性議員誕生。ゼロ撲運動の成果少しずつ
- 2019年 「政治分野の男女平等に向けて選挙制度改革を求めます」総務省に要望書
- 2022年 『議会におけるいじめ・ハラスメント調査報告書』
- 2023年 「女性ゼロ議会」調査：統一地方選前254自治体、1719の15%。41都道府県に。選挙のあった「女性ゼロ議会」115の約3割がゼロを脱したが「女性ゼロ議会」200以上。青森、福島は30%以上

女性をみくびる制度慣習意識に  
異議申し立てをし、  
女性の連帯と女性候補の応援を  
する旅を続けて30年余り

# 日本は78年間いったい何をしていたのか？

## 国会（第1院）の女性議員の変遷



## 2024ジェンダーギャップ上位10カ国と選挙制度

順位	国	選挙制度
1	アイスランド	比例代表制
2	フィンランド	比例代表制
3	ノルウェー	比例代表制
4	ニュージーランド	比例代表制中心
5	スウェーデン	比例代表制
6	ニカラグア	比例代表制
7	ドイツ	比例代表制中心
8	ナミビア	比例代表制
9	アイルランド	比例代表制
10	スペイン	比例代表制
118	日本	小選挙区制中心

女性差別の小さい国の選挙制度は比例代表制



## 鮮やかな歴史

比例代表制は1889年から。1902年に女性議員1号。今、男女半々  
ノルウェー・オーモット市(人口4500人ほどの山間の村)  
左：1888–1889年の議会(小選挙区制)。右：最近の議会（議員19人 5政党 女性11）

世界も日本も人口の半分は女性。

男女平等への旅は、人口の半分を幸せにするための壮大な営み。

北欧など男女平等先進国の歩みは語る——女性議員増は、ハンディを持つ人、貧しい人、少數派の人などの権利擁護につながる。

日本は男性議員だけの「女性ゼロ議会」200以上。

女性ゼロ議会がひとつでも残っている限り、男女平等を語るのはむなしい  
男女平等と女性解放の旅を続けよう

*Sisterhood is powerful and international!*